

将来都市像

本市は、手賀沼と利根川の水系に抱かれた水と緑の自然豊かな住宅都市として発展してきました。この手賀沼とそれを取り巻く風土に惹かれた志賀直哉や武者小路実篤をはじめとする「白樺派」をはじめとする文人たちや多くの文化人が手賀沼のほとりに居を構え、この地で文筆活動を展開し、多くの名作を世に送り出しました。今も、その旧居や執筆作品が残り、本市の大切な文化遺産となっています。

また、先人から引き継がれてきた祭りなどの伝統文化と歴史が地域に根づくとともに、手賀沼や利根川の豊かな水脈を活かした田園等や四季折々の豊かな景色自然など、さまざまな魅力があふれています。

さらに、ボランティアやNPOなどの活発な活動を通して、我孫子市を元気にまちにしてくれている人と人とのつながりがあります。

一方で、私たちを取り巻く社会は、少子高齢化と人口減少問題や大規模な自然災害への対応、新型コロナウイルスなど、や新たな感染症への対応など、かつて経験したことのないさまざまな大きな課題に直面しており、市民人々の価値観や生活様式も多様化しています。

私たちは、さまざまな課題に果敢に立ち向かいを乗り越え、先人たちが築き上げてきた文化や歴史、豊かな自然など我孫子ならではの魅力と、誰もが心やすらかに住みたい・住み続けたいと思える、快適で活力ある持続可能なまちを未来の世代に繋いでいくため、まちづくりの共通目標をである将来都市像を

未来につなぐ 心やすらぐ水辺のまち 我・孫・子

を将来都市像とします。

この将来都市像を実現するため、8つの基本目標と計画推進のための横断的な取り組みを定めます。